

Ⅲ 考察

Ⅲ 考察

1. 地域における取り組み

今回得られた宮古島市の統合データから、宮古地区全体および各地区の傾向や健康課題を把握する事ができました。働き盛り世代の多い協会けんぽのデータを統合することで、国保データだけでは見えにくかった若い世代の健康課題が明らかとなり、職域との連携の必要性を再認識することができました。

宮古島市では、統合データの結果について、健康増進計画推進会議や食育推進会議において報告をおこなっており、市の現状や課題を共有する場面において活用しています。(参考資料 5 P68 写真 1、2) また、結果から明らかとなった各地区の傾向や健康課題を住民に還元することで、住民の意識付けにつながり、地域の商工会議所や婦人会が健康づくりに関心を持ち始めています。この意識を大切にしながら、地域住民と行政と一緒に継続して健康づくりに取り組むことが重要であると考えます。

今回、データ統合・分析に協力頂いた琉球大学のゆい健康プロジェクトは、沖縄県の委託を受け、学校への食育と地域への健康づくりプログラムを連動して進めることで、県民の肥満・食塩摂取・高血圧罹患率等を低減させるシステムを確立することを目指し、事業を実施しています。ゆい健康プロジェクトにおいても、今回の宮古島市の統合データの結果を、地域におけるセミナーや勉強会の場で活用しており、ソーシャルキャピタルの醸成につなげています。(参考資料 5 P69 写真 3)

宮古保健所では、宮古地区保健医療協議会や宮古地区地域・職域連携推進会議、沖縄県公衆衛生学会において統合データの報告をおこない、関係者と宮古地区の健康課題を共有することができました。(参考資料 5 P66,67) また、地域・職域連携推進会議の作業部会において、宮古地区の課題整理をおこなう際の基礎資料として活用し、グループワークの中で、現状を踏まえた課題の抽出と解決策についての議論をおこなうことができ、住民のあるべき姿に向かうための対策を検討することができました。(資料 5 P69 写真 4) 次年度は、より効果的効率的な保健事業の実施にむけて、関係者と協働で取り組んで参ります。

2. 今後の課題

今回は、高血圧・糖尿病といったアウトカム疾患を設定した上で、生活習慣病に関する項目を抽出し、宮古島市の健康実態を明らかにしました。今後は、危険因子間の関連性の検討や、治療中の方のコントロール状況についても検討していく必要があります。また、地域の健康状態を分析する上で、単年度のデータ統合のみならず、経年的にデータを蓄積し分析していくことが重要です。さらに、市町村国保と協会けんぽのみならず全保険者のデータを統合し、宮古地区ひいては沖縄県全体の健康課題を分析していく仕組みづくりが重要であると考えます。

IV 參考資料

統合した健診データによる宮古島市の健康実態分析事業 実施要綱

目的

宮古島市民の健康状況が県内でも突出して悪い状況にあることが複数の報告において指摘されている。市民の健康の実態を総合的に把握するため、保険者ごとに実施されている特定健康診査（生活習慣病予防健診）のデータを統合して分析し、今後の対策の基礎資料とする。

事業実施主体

宮古保健所

分析対象

平成 23 年度に宮古島市国保、全国健康保険協会沖縄支部において実施した健診で宮古島市に住所を有する受診者の結果

方法

(1)データの収集手続き

- ①宮古福祉保健所が、協会けんぽ(沖縄支部)加入者(宮古島市)の健診個別データ提供を協会けんぽへ依頼する。
- ②宮古福祉保健所が協会けんぽデータを受領し、琉球大学分析担当者へ送付する。
- ③宮古島市は、国保加入者の健診個別データ（宮古島市国民健康保険課保有資料）を琉球大学分析担当者へ送付する。
- ④宮古島市は、40 歳未満の健診個別データ（宮古島市健康増進課保有資料）を琉球大学分析担当者へ送付する。
- ⑤本事業に関する市の窓口は、宮古島市健康増進課とする。

(2)収集するデータの項目（協会けんぽ、国保の共通項目）

・ 個人情報を除く、連結不可能匿名化データとして下記の項目のデータを収集する。

- ① 性、年齢、住所（行政区別）
- ② 問診項目（22 項目）
- ③ 検査項目

データの分析

平成 24 年度より 3 年計画で沖縄県が琉球大学に委託して実施している「健康行動実践モデル実証事業（ゆい健康プロジェクト）」を、宮古島市において実施する事業の一環として行う。

分析担当者：琉球大学法文学部准教授 白井こころ

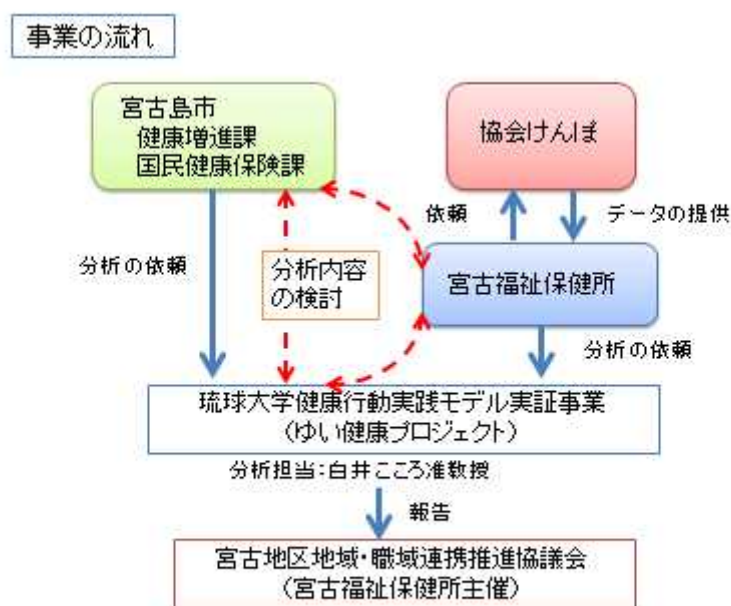
分析項目等に関する検討

分析項目等について琉球大学白井准教授、宮古島市、宮古福祉保健所で協議する。

分析結果の活用、公表

分析結果は、宮古地区地域・職域連携推進協議会において報告、検討するほか、宮古島市の啓発資料に使用する。

また平成 26 年度に実施予定の「健康行動実践モデル事業」において使用する。



附則

この要綱は、平成 25 年 9 月 10 日から施行する。

指標の定義

「都道府県健康増進計画改定ガイドライン（平成 19 年 4 月 厚生労働省健康局）」より

指標	定義
肥満者	①BMI25 以上で腹囲男性 85 c m 以上、女性 90 c m 以上 ②BMI のみ 25 以上 ③腹囲のみ男性 85 c m 以上、女性 90 c m 以上
糖尿病有病者	空腹時血糖 126mg/dl 以上、または HbA1c6.1 以上、 もしくはインスリン注射または血糖を下げる薬服用者
高血圧症有病者	収縮期血圧が 140mmHg 以上、 または拡張期血圧が 90mmHg 以上の者 もしくは、血圧を下げる薬服用者
脂質異常症有病者	中性脂肪 150mg/dl 以上、 または HDL コレステロール 40mg/dl 未満、 または LDL コレステロール 140mg/dl 以上、 もしくはコレステロールを下げる薬服用者

標準的な問診票

	質問項目	回答
1~3	現在、aからcの薬の使用の有無	
1	a. 血圧を下げる薬	①はい ②いいえ
2	b. インスリン注射又は血糖を下げる薬	①はい ②いいえ
3	c. コレステロールを下げる薬	①はい ②いいえ
4	医師から、脳卒中(脳出血、脳梗塞等)にかかっていると いわれたり、治療を受けたことがありますか。	①はい ②いいえ
5	医師から、心臓病(狭心症、心筋梗塞等)にかかっていると いわれたり、治療を受けたことがありますか。	①はい ②いいえ
6	医師から、慢性の腎不全にかかっているといわれたり、 治療(人工透析)を受けたことがありますか。	①はい ②いいえ
7	医師から貧血といわれたことがある。	①はい ②いいえ
8	現在、たばこを習慣的に吸っている。 (※「現在、習慣的に喫煙している者」とは、「合計100本 以上、又は6ヶ月以上吸っている者」であり、最近1ヶ月 間も吸っている者)	①はい ②いいえ
9	20歳の時の体重から10kg以上増加している。	①はい ②いいえ
10	1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2回以上、 1年以上実施。	①はい ②いいえ
11	日常生活において歩行又は同等の身体活動を 1日1時間以上実施。	①はい ②いいえ
12	ほぼ同じ年齢の同性と比較して歩く速度が速い。	①はい ②いいえ
13	この1年間で体重の増減が±3kg以上あった。	①はい ②いいえ
14	人と比較して食べる速度が速い。	①はい ②ふつう ③遅い
15	就寝前の2時間以内に夕食をとることが週に 3回以上ある。	①はい ②いいえ
16	夕食後に間食(3食以外の夜食)をとることが週に 3回以上ある。	①はい ②いいえ
17	朝食を抜くことが週に3回以上ある。	①はい ②いいえ
18	お酒(清酒、焼酎、ビール、洋酒など)を飲む頻度	①毎日 ②時々 ③ほとんど飲まない(飲めない)
19	飲酒日の1日当たりの飲酒量… 清酒1合(180ml)の目安: ビール中瓶1本(約500ml)、焼酎35度(80ml)、 ウイスキーダブル1杯(60ml)、ワイン2杯(240ml)	①1合未満 ②1~2合未満 ③2~3合未満 ④3合以上
20	睡眠で休養が十分とれている。	①はい ②いいえ
21	運動や食生活等の生活習慣を改善してみようと思いませんか。	①改善するつもりはない ②改善するつもりである (概ね6ヶ月以内) ③近いうちに(概ね1ヶ月以内) 改善するつもりであり、 少しずつ始めている ④既に改善に取り組んでいる (6ヶ月未満) ⑤既に改善に取り組んでいる (6ヶ月以上)
22	生活習慣の改善について保健指導を受ける機会があれば 利用しますか。	①はい ②いいえ

宮保第1090号

平成25年9月10日

全国健康保険協会沖縄支部

支部長 宮城勝 殿

沖縄県宮古保健所

所長 仲宗根正

生活習慣病予防健診の個別データの提供について（依頼）

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素より当所の保健事業につきましては、ご理解ご協力を賜り感謝申し上げます。

さて、保健所では、地域保健と職域保健の健康課題を検討する目的で、「宮古地区地域・職域連携推進協議会」を開催し各機関で健康づくりを推進しているところです。

一方、近年の宮古地区の健康状況は、県内でも突出して悪い状況にあります。そこで、市民の健康実態を、各保険者で実施されている健診結果と統合して把握し、さらなる対策の強化を図るため、別添の実施要綱に基づき事業計画しています。

つきましては、宮古島市に住所を有する協会けんぽ加入者の生活習慣病予防健診の個別データをご提供頂きますようお願い致します。

ご多忙の折恐縮に存じますが、趣旨をご理解頂きご協力をよろしくお願い申し上げます。

記

1. 提供データを使用する業務の根拠法令
 - ： 地域保健法第4条の基本方針の第6の4
 - 健康増進法第9条の健康診査等指針の第3の7
2. 対象 : 宮古島市に住所を有する平成23年度生活習慣病予防健診受診者
3. データ項目 : 性別、年齢、
住所（行政区分）…別紙1
問診結果 …別紙2
健診結果 …別紙3
(詳細については別紙をご覧ください)

宮古保健所 健康推進班
TEL : 0980-73-5074
FAX : 0980-72-8446

平成 26 年 2 月 7 日 (金) 宮古毎日新聞 掲載

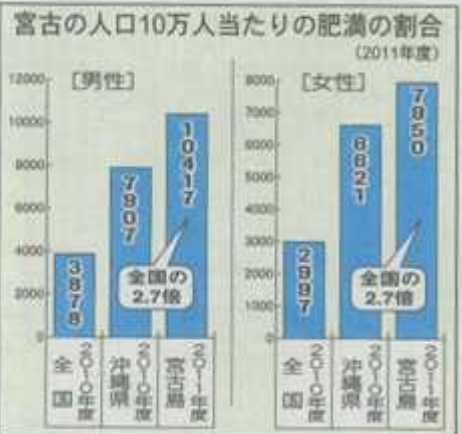
宮古地区 肥満割合全国の2・7倍



宮古の生活習慣病の実態などが報告された会議＝6日、宮古福祉保健所

高血圧、糖尿病も全国上回る 保健医療協議会で報告

宮古地区の住民の肥満の割合は、全国の2・7倍(2011年度)と高い数値だったことが、6日に宮古福祉保健所で開催された宮古地区保健医療協議会で、明らかにされた。肥満は高血圧や糖尿病と関係するとされ、それを裏付けるように両疾患の割合も全国平均と比べて高かった。



宮古地区の生活習慣病の実態を示すデータは、琉球大学健康プロジェクトチームが11年度に調査を行い分析して提供した。

宮古福祉保健所は、調査結果を踏まえ具体的な生活習慣病対策を検討することとしている。

分析対象者は7808人(男性4047人、女性3761人)。人口10万人当たり換算した肥満(BMI指数30以上)の割合は、男性が41・7人(10・4%)、女性が38・7人(10・3%)と全国平均を上回った。

糖尿病の10万人当たりの割合は男性は全国平均の1.8倍(9・9%)、女性は1.8倍(9・9%)と全国平均を上回った。

宮古地区医師会の池村真会長は、糖尿病の割合がかなり高いことから、健康増進で指摘されても治療していない人が多くいると指摘。沖縄県保健所長は、糖尿病の初期は自覚症状がないために病気が進んでから治療を受ける人が多いとして、今夜は初期治療と治療を継続させる啓発活動が課題になると述べた。

肥満の割合は男性は40・4%、女性は38・7%と全国平均を上回った。肥満は運動不足や高カロリー食の摂り過ぎが原因とされている。

宮古地区医師会の池村真会長は、糖尿病の割合がかなり高いことから、健康増進で指摘されても治療していない人が多くいると指摘。沖縄県保健所長は、糖尿病の初期は自覚症状がないために病気が進んでから治療を受ける人が多いとして、今夜は初期治療と治療を継続させる啓発活動が課題になると述べた。

糖尿病の10万人当たりの割合は男性は全国平均の1.8倍(9・9%)、女性は1.8倍(9・9%)と全国平均を上回った。

宮古地区医師会の池村真会長は、糖尿病の割合がかなり高いことから、健康増進で指摘されても治療していない人が多くいると指摘。沖縄県保健所長は、糖尿病の初期は自覚症状がないために病気が進んでから治療を受ける人が多いとして、今夜は初期治療と治療を継続させる啓発活動が課題になると述べた。

男性の高血圧(収縮期、140mmHg以上)は2万7945人(27・9%)で、全国平均(20・6%)と比べて7割以上多い。女性も1万7223人(45・3%)多い。女性に比べて男性は4割以上(21・1%)多かった。

県6次計画を確認

地区保健
医療協

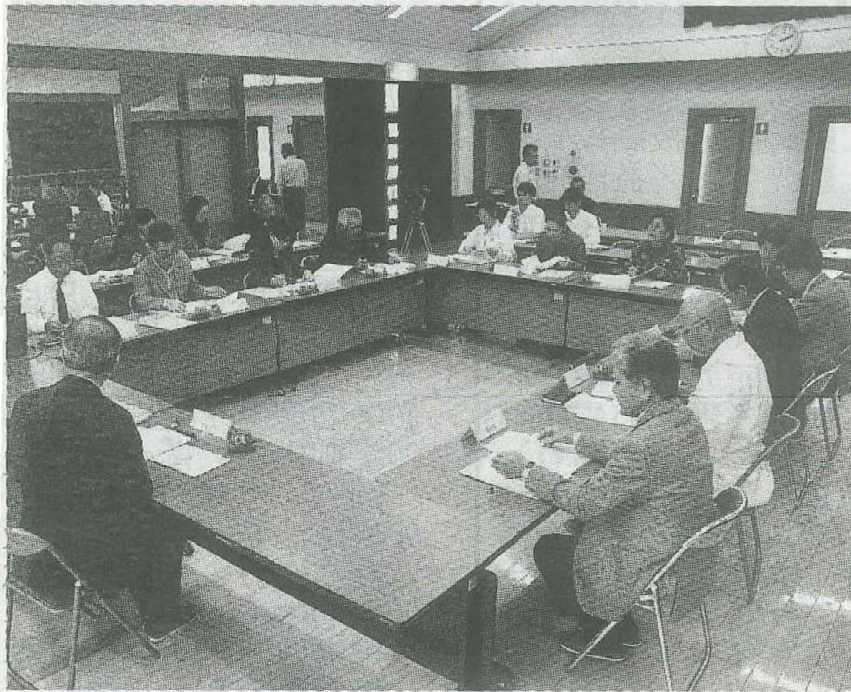
精神疾患の追加など

2013年度宮古地区保健医療協議会が6日午後、県宮古福祉保健所健康増進室で行われた。県立宮古病院をはじめ、地区医師会や歯科医師会、薬剤師会、老人クラブ連合会、市教育委員会など関係機関・団体の代表者らが参加し、県の第6次保健医療計画などについて認識を深めた。

午後2時からの協議会では、▽第6次県保健医療計画の概要▽生活習慣病対策

▽精神疾患の保健医療体制
▽救急医療の4議案について協議した。6次計画は13年度〜17年度の5年間で、これまで生活習慣病・がん・脳卒中・急性心筋梗塞・糖尿病の4つだった疾病項目に精神疾患を追加したほか、小児医療・周産期医療・救急医療・災害医療・へき地医療の事業項目に在宅医療体制の整備を追加する施策拡充が行われた。

会議の冒頭、同保健所の



仲宗根正所長が「限られた時間だが、委員の皆さんから忌たんのない意見を頂きたい」とあいさつした。

県の第6次保健医療計画などについて確認した協議会
＝県宮古福祉保健所

【写真1】宮古島市健康増進計画推進会議（H26.3.19）



【写真2】宮古島市食育推進会議（H26.6.6）



【写真3】ゆい健康プロジェクト地区説明会（腰原地区）（H26.6.29）



【写真4】地域・職域連携推進会議 作業部会（H27.2.13）



統合した健診データによる宮古島市の健康実態分析事業の経過

年月日	内容	参加者
H25/9/5	○調整会議 (事業の趣旨・方法、健診データ提供について)	保健所 3 人 宮古島市 2 人
H25/9/18	○ゆい健康プロジェクト事業説明会	琉球大学 5 人 保健所 3 人
H25/10/9	○保健所と協会けんぽ覚書締結 (データ受け取り)	
H25/10/16	○調整会議 (事業実施要綱、データ抽出方法・項目等について)	保健所 4 人 琉球大学 3 人 宮古島市 2 人
H25/10/16	○健康づくり研修会 講話「地域の力でよみがえれ健康長寿の宮古島」 講師：琉球大学 法文学部 白井こころ准教授	宮古管内のチャージャー ンジャー応援団 39 人
H25/12/12	○宮古島市特定健診解析報告 (国保・社保の統合データ結果報告会)	保健所 5 人 琉球大学 1 人 宮古島市 3 人
H25/12/18	○ゆい健康プロジェクト事業説明会	琉球大学 3 人 宮古島市 13 人 保健所 1 人
H26/2/6	○統合データ報告 (保健所：宮古地区保健医療協議会にて一部報告)	委員 12 人
H26/3/19	○統合データ報告 (市：宮古島市健康増進計画推進会議にて一部報告)	委員 18 人
H26/6/6	○統合データ報告 (市：宮古島市食育推進会議にて一部報告)	委員 18 人
H26/6/30	○調整会議 (事業経過と今後の活用について)	保健所 5 人 琉球大学 4 人 宮古島市 4 人
H26/8/15	○統合データ報告 (保健所：地域・職域連携推進会議にて一部報告)	委員 12 人
H26/10/28	○統合データ報告 (保健所：沖縄県公衆衛生学会にて一部報告)	
H27/2/13	○統合データ結果を基礎資料としてグループワーク (保健所：地域・職域連携推進会議作業部会にて活用)	作業部会員 9 人

統合した健診データによる
宮古島市の健康実態分析事業報告書

平成 27 年 3 月発行

発行元 沖縄県宮古福祉保健所
〒906-0007
沖縄県宮古島市平良字東仲宗根 476
TEL 0980-73-5074
FAX 0980-72-8446